

### 【アメリカ】硫黄島上陸 75 周年を顕彰する決議案の提出

2020年2月13日、トッド・ヤング（Todd Young）上院議員（共和党、インディアナ州）が、米軍による硫黄島上陸 75 周年を顕彰する上院決議案第 502 号（S.Res.502）を提出した。この決議案の共同提出者は 38 名（共和党 20 名、民主党 17 名、無所属 1 名）である。

また下院でも、同じ 2 月 13 日に、ケン・カルバート（Ken Calvert）下院議員（共和党、カリフォルニア第 42 選挙区）が、ほぼ同じ内容の下院決議案第 857 号（H.Res.857）を提出した。この決議案の共同提出者は 8 名（共和党 6 名、民主党 2 名）である。

両決議案の前文は、第二次世界大戦時の米軍が硫黄島に上陸し（1945年2月19日）、同島の摺鉢山（すりばちやま）に星条旗を掲げた（1945年2月23日）史実を振り返った。具体的には、第二次世界大戦の中で、硫黄島の戦いが戦略的重要性を持つものであったと強調し、上陸作戦に貢献した米軍関係者の名前にも言及した。また、日本側の関係者も招く 75 周年追悼式典が、2020年3月28日に硫黄島で開催される予定も紹介した（新型コロナウイルスの感染拡大により式典の開催は中止された）。

全 9 項目から成る両決議案の本文は、硫黄島の戦いに参加した米海兵隊員らに加えて、防衛にあたった日本軍兵士の勇気も称えた（第 3 項）。また、今日の日米の友好と絆についても再確認した（第 7 項）。

硫黄島上陸に関する決議案は、これまでも幾度か提出され、65 周年を顕彰する下院決議案第 1099 号（H.Res.1099）は、2010年3月21日に採択された。2020年4月7日現在、75 周年を顕彰する両決議案は、いずれも採択に至っていない。

海外立法情報課・西住 祐亮

- <https://www.congress.gov/116/bills/sres502/BILLS-116sres502is.pdf>
- <https://www.congress.gov/116/bills/hres857/BILLS-116hres857ih.pdf>
- <https://www.marinecorpstimes.com/off-duty/military-culture/2020/03/07/iwo-jima-75th-anniversary-reunion-called-off-due-to-coronavirus-concerns/>
- <https://www.congress.gov/111/bills/hres1099/BILLS-111hres1099eh.pdf>